



フォーサイド グループ 2019年12月期第2四半期 決算説明資料



2019年12月期第2四半期 連結業績ハイライト

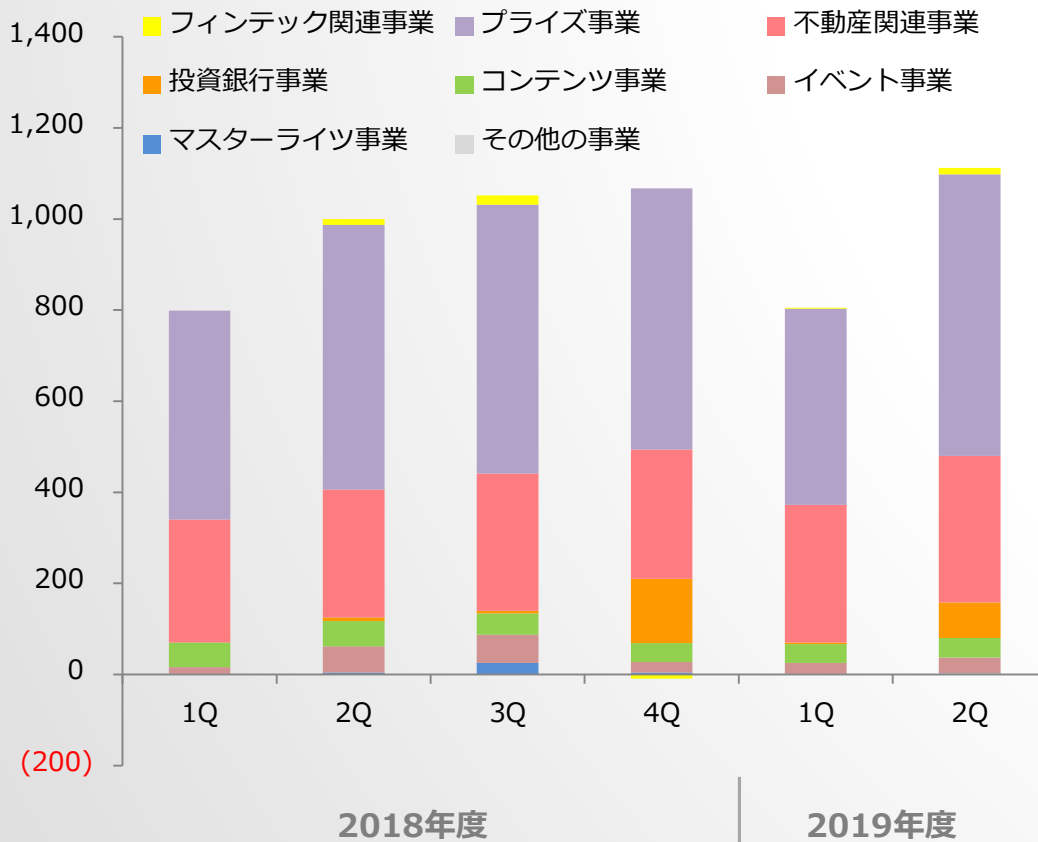
(単位：百万円)

	2018年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	1,804	1,924	106.7%	「プライズ事業」、「不動産関連事業」がグループ全体を牽引し、営業収益は前年比106.7%と堅調に推移。 営業利益・経常利益においては、「投資銀行事業」における案件の成約件数が順調に増加したことで、大きく利益を押し上げ、第2四半期での黒字転換に成功。 一方で、一過性の費用として繰延税金資産の取り崩しによる法人税等調整額245,825千円を第1四半期連結期間より計上したことで、親会社株主に帰属する当期純利益は、利益の確保には至らず。
営業総利益	749	875	116.8%	
販売管理費	839	872	104.0%	
営業利益	△89	2	—	
経常利益	△73	23	—	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△117	△111	—	

プライズ事業、不動産関連事業、投資銀行事業がグループ全体を牽引
法人税等調整額の計上により、2019年第2四半期での利益確保に至らず

営業収益の推移

(単位：百万円)



(200)

プライズ事業・家賃保証事業は堅調に推移
投資銀行事業が営業利益の押し上げに貢献

主な増減要因

プライズ事業

※(株)ブレイクにおけるプライズ事業では、取扱商品の増加に比べ、受注件数の伸長により、売上高は堅調に推移。一方で、営業拡大による人件費の増加や高騰する配送・運送費のコスト増により販売管理費が増加したものの、セグメント利益を確保。

不動産関連事業

※日本賃貸住宅保証機構(株)における家賃保証事業では、新規獲得件数及び保証債務残高は順調に推移。一方で、代位弁済立替金の増加による貸倒引当金繰入及び貸倒損失の計上にくわえ、のれんの償却等が影響し、セグメント利益の確保には至らず。

投資銀行事業

※フォーサイドフィナンシャルサービス(株)における投資銀行事業では、M&A等のアドバイザリー業務等の案件の成約件数が好調に推移し、大幅な増収・増益を達成。

コンテンツ事業

※(株)モビぶっくで展開中の電子書籍・女性向けメディアは堅調に推移。一方で、アプリ配信業務では分配金の見直しに伴い収益減となるも、コンテンツ事業全体ではセグメント利益を確保。

マスターライセンス事業

※フォーサイドメディア(株)における音楽関連事業は、アーティストのライブ活動・音楽配信・関連グッズ販売を積極的行ったが、販売管理費等を補うまでには至らず、セグメント利益の確保には至らず。

フィンテック関連事業

※フォーサイドフィナンシャルサービス(株)におけるフィンテック関連事業では、マイニング機器の稼働を全て停止しているものの、保有する仮想通貨の売却に伴う売却益を計上し、セグメント利益を確保。

イベント事業

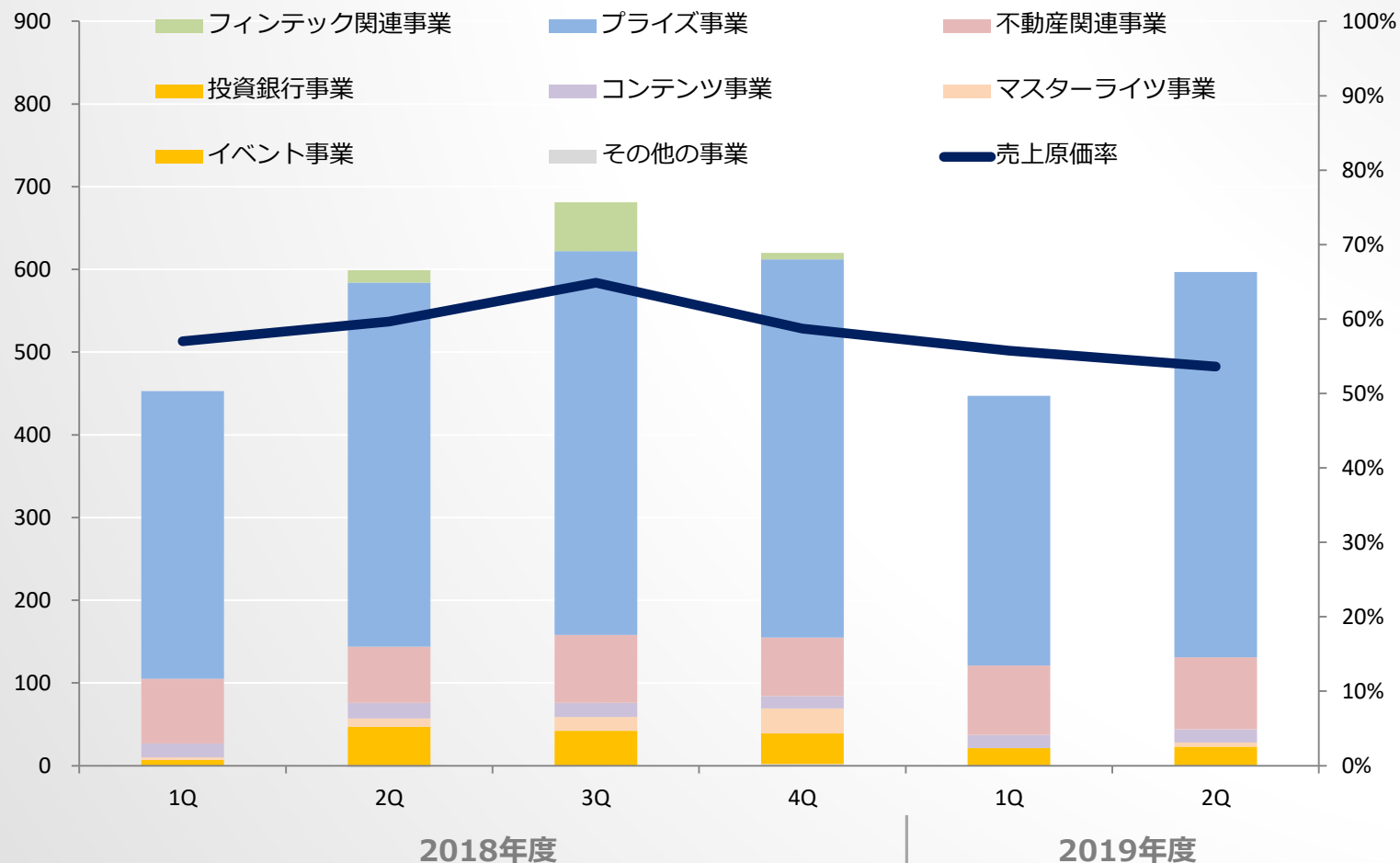
※(株)ブレイクにおけるイベント事業では、多くの催事・イベントにおいて商品を展開・販売することで収益を確保するも、来場者一人当たりの購入金額が当初想定を上回ることができず、セグメント利益の確保に至らず。

その他の事業

※フォーサイドフィナンシャルサービス(株)における金融事業では、貸付金の回収に注力し、販売管理費用の抑制に努めたことで、セグメント利益の確保。

原価の推移

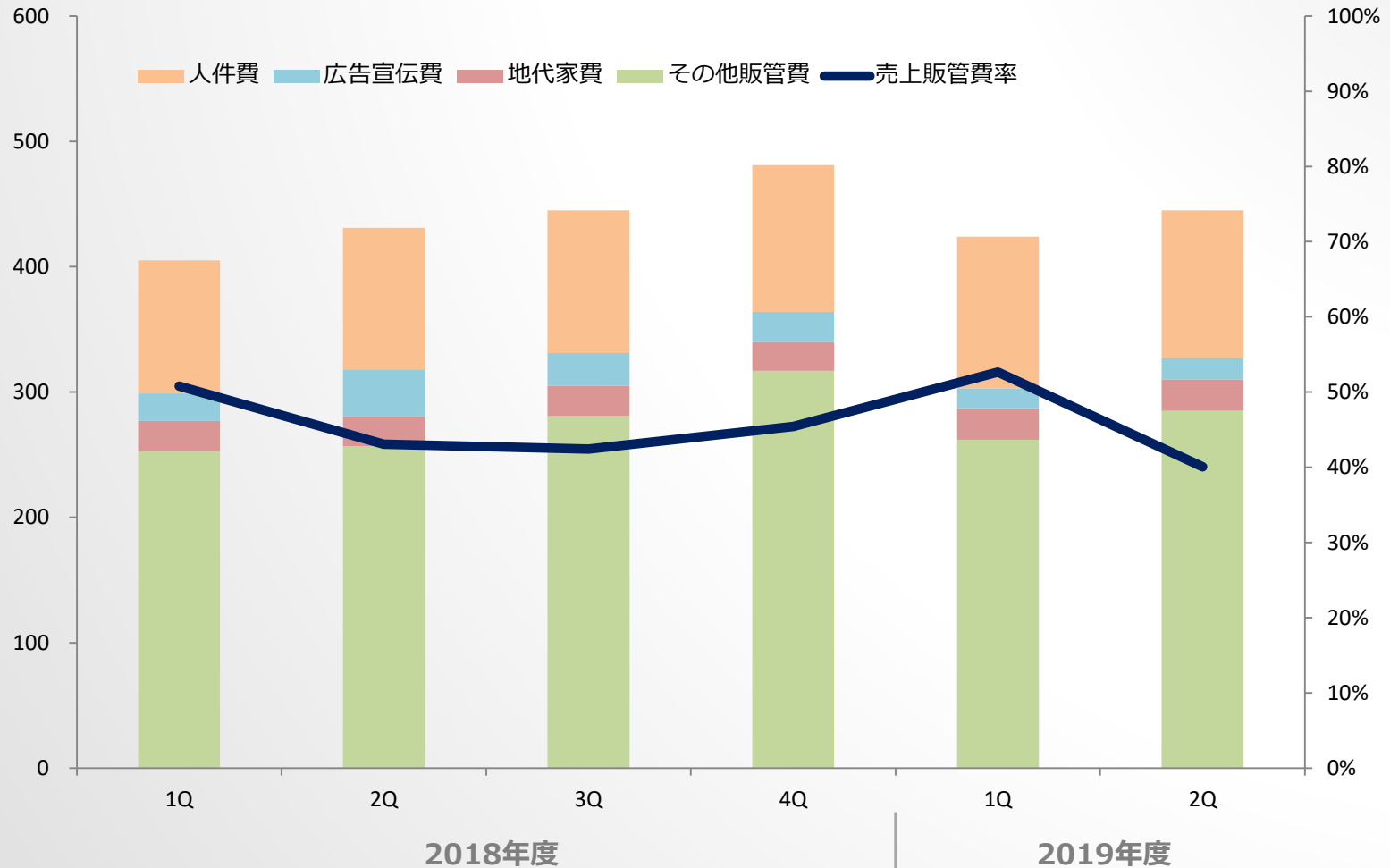
(単位：百万円)



売上の増加に伴い原価は増加
各事業において原価管理を徹底し、継続的なコスト削減を実施

販売管理費の推移

(単位：百万円)



営業拡大に伴い人件費は増加
一方で、広告運用の最大化を図ることで広告宣伝費の抑制を遂行

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年度 12月期	2019年度 第2四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	3,994	3,147	△846	資産については貸付金の減少544百万円、繰延税金資産の取り崩しによる減少245百万円等により、前年度末に比べ846百万円の減少となった。
負 債	2,094	2,065	△29	負債については借入金の減少87百万円、前受収益の増加66百万円等により、前年度末に比べ29百万円の減少となった。
純資産	1,899	1,082	△816	純資産については子会社株式の追加取得による資本剰余金の減少553百万円、親会社株主に帰属する当期純損失111百万円等を計上したことにより、前年度末に比べ816百万円の減少となった。

(注) 2019年8月14日現在、発行済株式総数は31,397,704株、資本金は1,264百万円、資本準備金は1,161百万円です。

日本賃貸住宅保証機構(株)の株式追加取得により純資産が減少
日本賃貸住宅保証機構(株) が100%子会社に

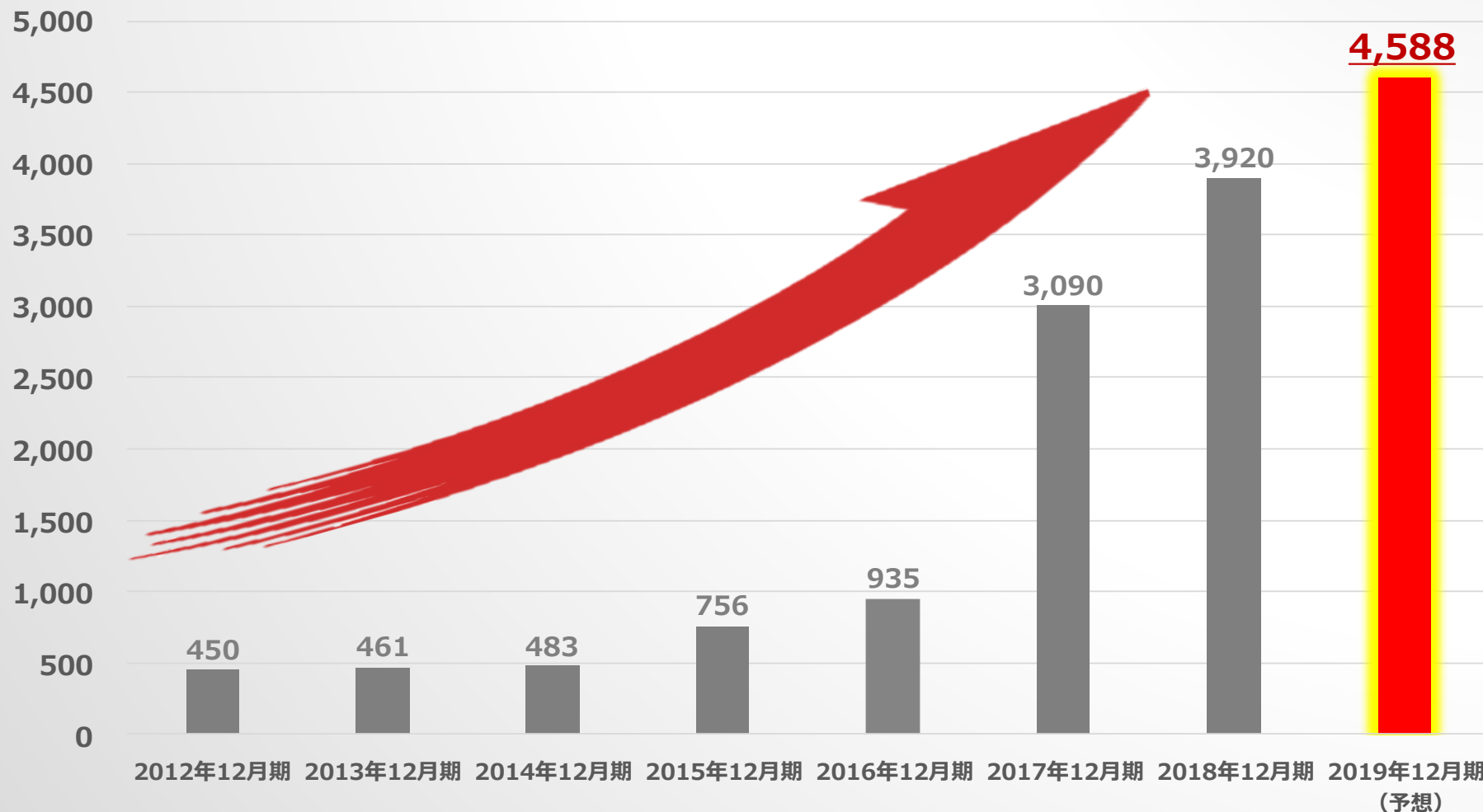


2019年12月期の業績見通し

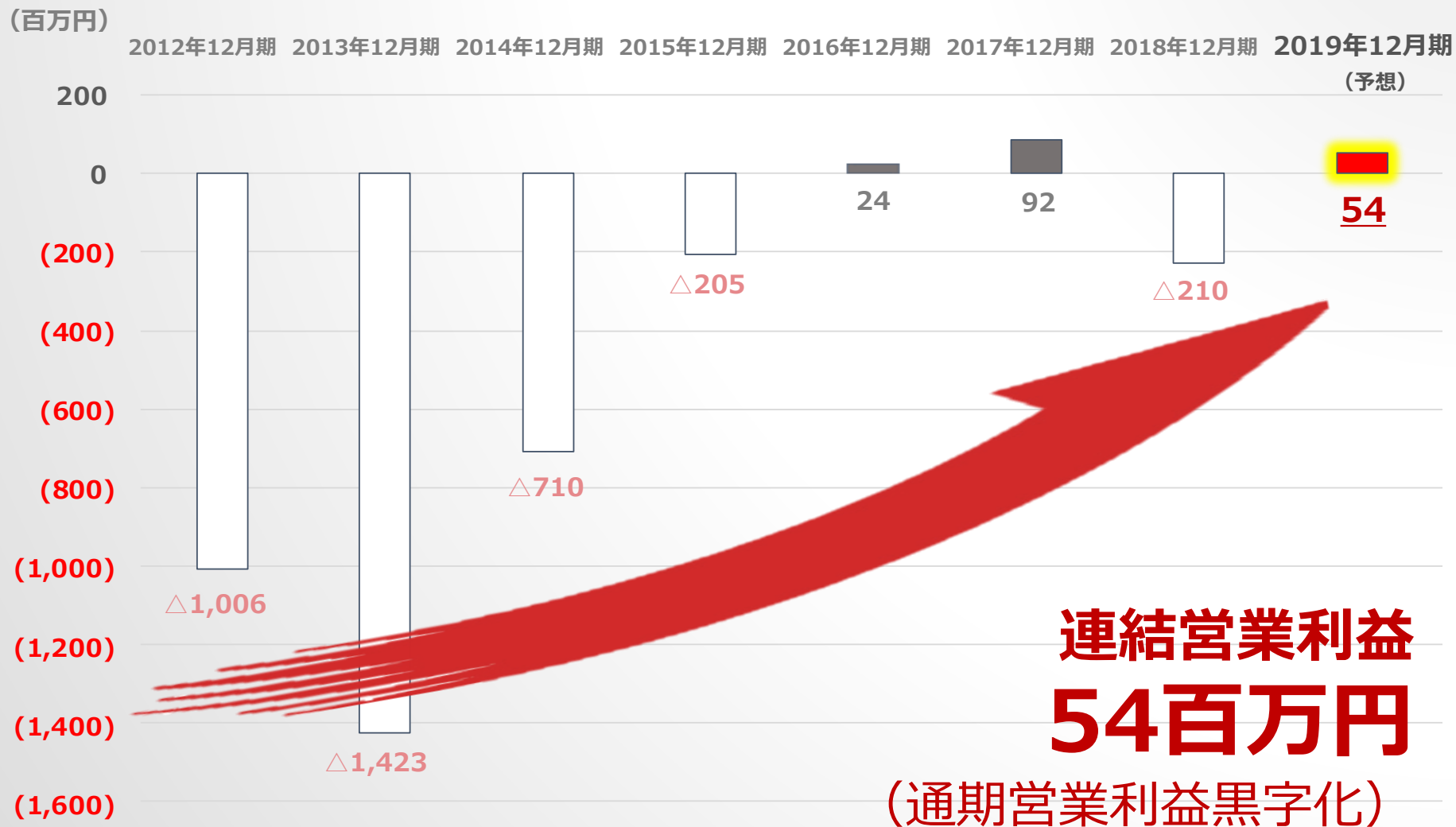
連結営業収益（通期予想）

連結営業収益 45億88百万円
(前年比17.0%増)

(単位：百万円)



連結営業利益（通期予想）



フォーサイドグループ概要

会 社 名

株式会社フォーサイド (持株会社)



所 在 地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階

設 立 日

2000年3月31日 (2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330)

資 本 金

1,264,914,136円 (発行済株式総数31,397,704株)

経 営 陣

代表取締役 根津 孝規 取締役会長 泉 信 彦 常務取締役 飯田 潔
取 締 役 吉田 生喜 取 締 役 假屋 勝 取 締 役 濱田卓二郎
常勤監査役 法木 右近 監 査 役 田辺 一男 監 査 役 瀬山 剛

顧 問

法律顧問 TMI総合法律事務所

事 業

- ・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
- ・投資銀行業務

子 会 社

- ・(株)ブレイク：プライズ商品企画販売事業/イベント企画運営事業
- ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業
- ・フォーサイドフィナンシャルサービス(株)：投資銀行業務/フィンテック事業/金融事業
- ・(株)モビぶっく：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業
- ・フォーサイドリアルエステート(株)：不動産投資事業/不動産販売・管理事業
- ・(株)マーベラスアーク：音楽関連事業
- ・フォーサイドメディア(株)：音楽関連事業

※2019年7月5日付けで株式会社FMに商号変更



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略などは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。

実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、為替リスク、当社事業を取巻く様々なリスク、国内及び国際的な経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。